

ロジスティクス曲線

見田宗介、大澤真幸『二千年の社会と思想』太田出版、2012年より

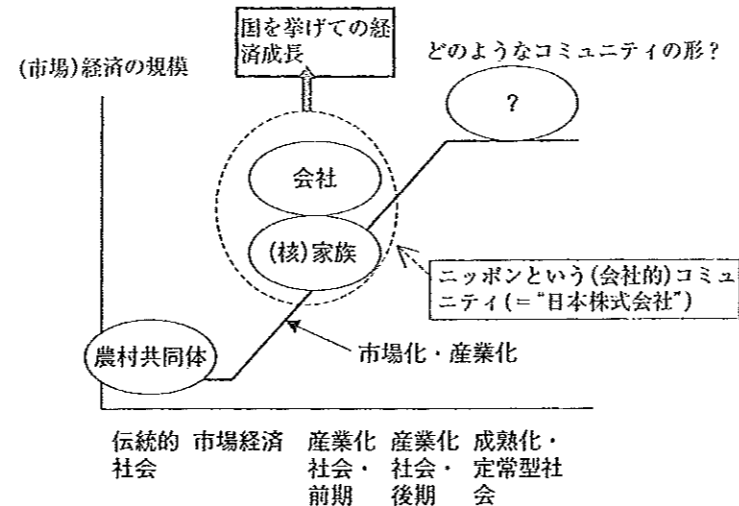


図1 経済システムの進化とコミュニティ — 地域からの“離陸”と“着陸”

廣井良典『コミュニティを問うおす』筑摩書房、2009年より

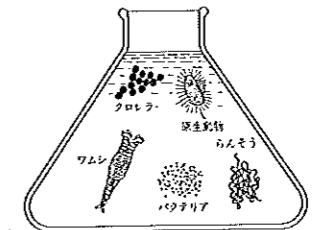


図1 フラスコの中の生物

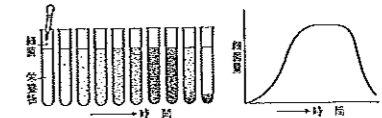


図2 一細胞のバクテリアの増殖

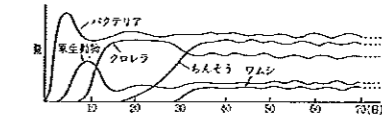
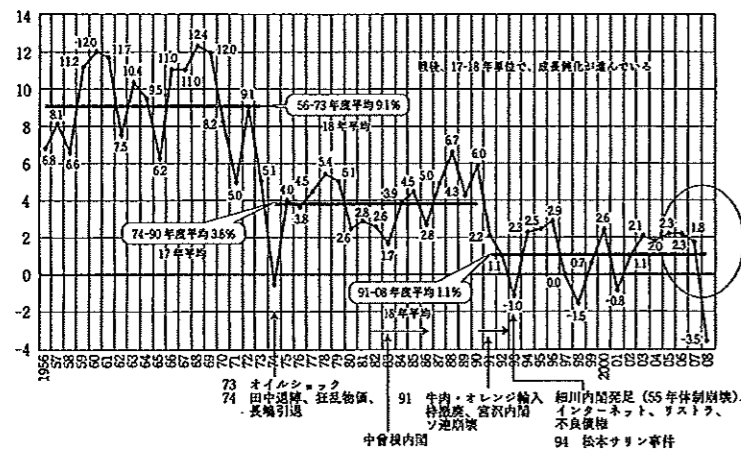


図3 フラスコの中の succession

長原康『有限の生態学』岩波書店、1994より



図表1 経済成長率の推移²
出典:『社会実情データ図録』(年表は著者)

早川克典『移行期的混乱』筑摩書房、2010年より

現代(人)の三つの危機

【からだ=自然とのつながり】の危機

⇒グローバル化
試される想像力
感謝を世界化せよ

【こころ=人と人のつながり】の危機

⇒のっぺらぼうで百面相
無縁社会
新しい公共

【たましい=自分自身とのつながり】の危機

⇒「千の風になって」漂う
自己を超えるものとの関係
いのちの守り

新たなる在所を求めて

村の古老の話

私はここで生まれ、この水を飲み、この食べ物を食べて、ここで育ち、この人々の間でこのような役割を担い、ここで老い、やがてここで死ぬであろう。死んだら先祖に仲間入りして、盆には家族に迎えられ、そのうち氏神になり、そして自然と一体になる。それが私、ここが私の在所。

在所=からだの在所、こころの在所、たましいの在所。

⇒現代人に在所はあるか?

現代人は「所在ない」

つながりを再構築し、新時代の「在所」を作る時!

過去を育てて未来をつくる

過去の在所には戻れない。

そこで、過去を育てて新しい在所をつくる。

【過去を育てる】過去の経験をふり返り、その価値を現在の視点から再評価し、位置づけ直す。過去の出来事、その事実自体は変えることはできないが、過去から示唆や教訓を汲み取ることによって、私たちに与った「過去の値打ち」を高めることはできる。それは現代を生きる私たちにしかできないこと、そして、私たちがしなければならぬ大事なこと。

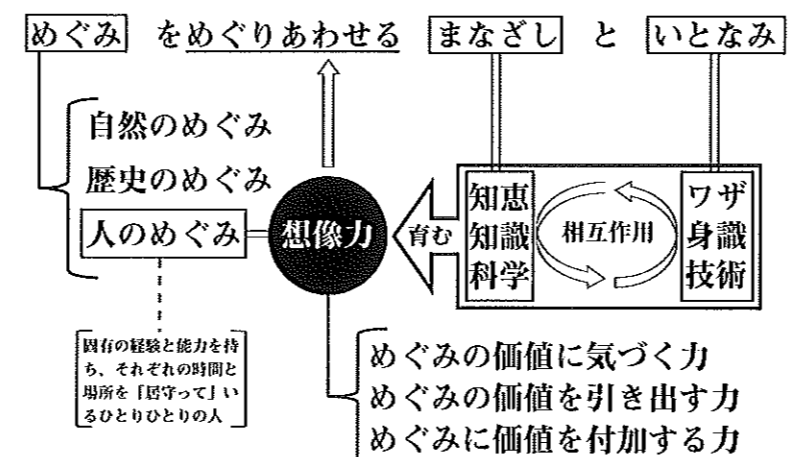
まず、自分たちの足元を見つめ直すこと。

それは「地域学」、それは「地元学」。

「ないものねだりから、あるものさがしへ」。

そして、失われたつながりを「もやいなおす」こと。

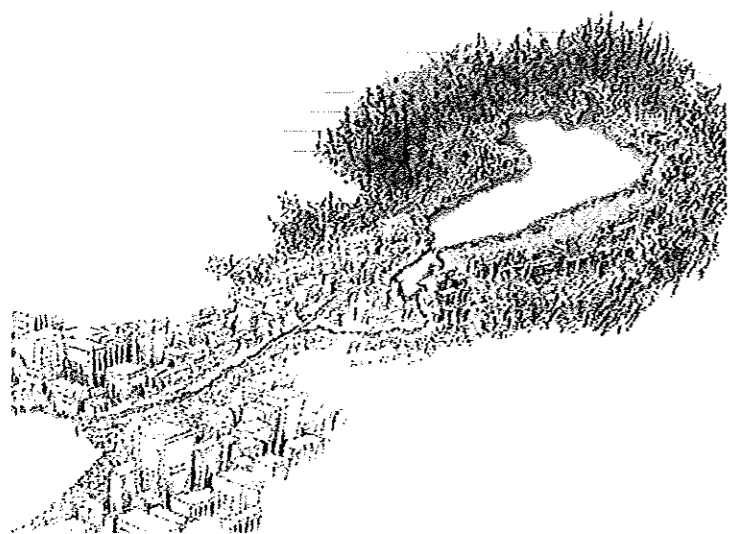
文化とは



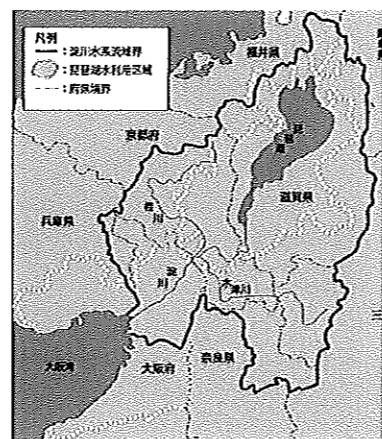
替えうた 唱歌『ふるさと』

- うさぎ追いし かの山 こぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて 忘れがたき ふるさと
- いかにいます 父母 つがなしや 友がき
雨に風につけても 思いいずる ふるさと
- ころざしを はたしに いつの日にか 帰らん
山は青き ふるさと 水は清き ふるさと

『ふるさと』 高野辰之作詞・岡野貞一作曲/文部省唱歌(六年)を「改作」



PPTデータ提供:滋賀県

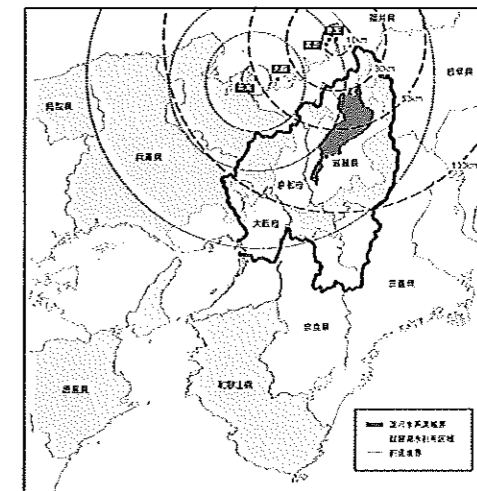


	流域面積	割合
淀川全体	8,240km ²	100.0%
琵琶湖	3,848km ²	46.7%

府県名	琵琶湖からの 給水人口(H15)
滋賀県	1,102,737人
京都府	1,814,201人
大阪府	8,772,470人
兵庫県	2,667,211人
合計	14,356,619人

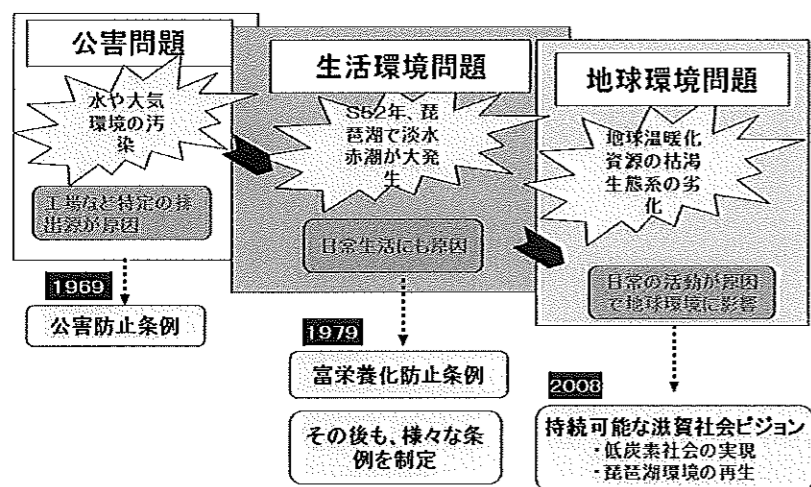
PPTデータ提供:滋賀県

琵琶湖水利利用区域と原子力発電所の立地



PPTデータ提供:滋賀県

滋賀県における環境問題への対応の歴史



PPTデータ提供:滋賀県

有リン合成洗剤の禁止

主婦による粉石けん使用・合成洗剤禁止運動



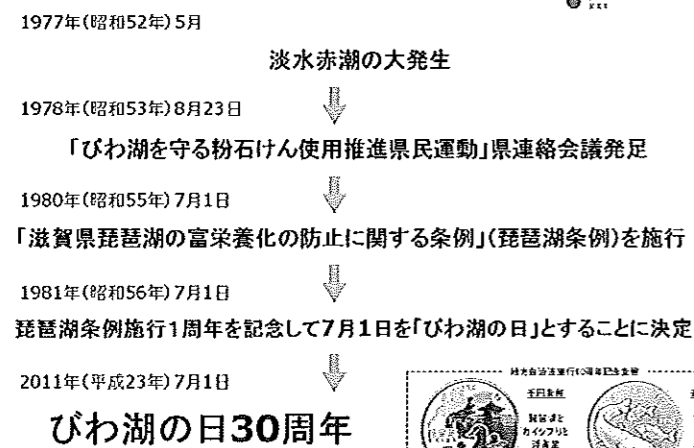
富栄養化防止条例(1979年制定) ⇨ 翌1980年の赤潮の発生が4日間に激減

PPTデータ提供:滋賀県



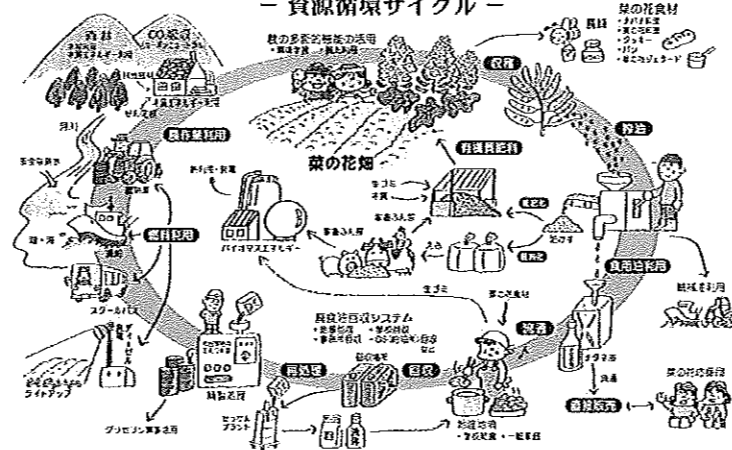
写真提供:藤井純子さん

びわ湖の日

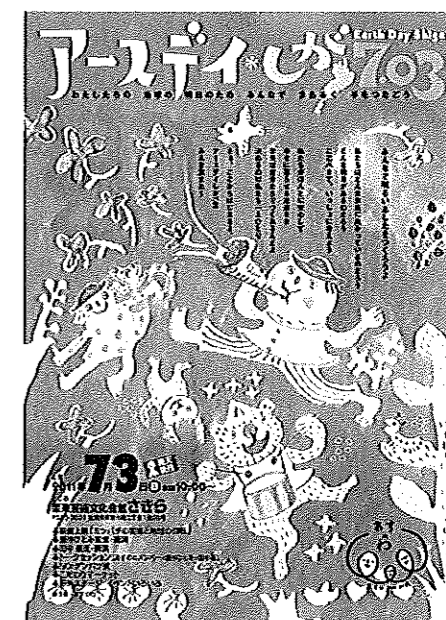


PPTデータ提供:滋賀県

Yellow Revolution Hello! 菜の花プロジェクト - 資源循環サイクル -



菜の花プロジェクトネットワークホームページhttp://www.nanohana.gr.jpより



アースデイが73チラシ